



GLOSSARY

A

Administration Console

Cisco IPICS サーバソフトウェアのグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI)。権限を与えられた Cisco IPICS ユーザは、Cisco IPICS のリソース、イベント、および VTG をこのインターフェイスを使用して管理および設定できます。

C

CAI

共通無線インターフェイス (Common Air Interface) の略。P25 準拠の無線システムおよび装置に採用されている、デジタル無線通信メディアのための標準。P25 Phase I の標準規格では、周波数分割多重アクセス (FDMA) テクノロジーについて規定されています。

CAS

個別線信号方式 (Channel Associated Signaling) の略。音声チャンネル内でシグナリング情報を伝送すること。CAS シグナリングは、ユーザの帯域幅がネットワークによって他の目的のために失われるため、損失ビット シグナリングとも呼ばれます。

channel select チェックボックス

IDC 上の指定したチャンネルを、オーディオ伝送用に選択または選択解除する機能を提供します。

Cisco Unified Communications Manager (CallManager)

シスコの IP テレフォニー ソリューションのソフトウェア ベース コール処理コンポーネント。Cisco Unified Communications Manager (CallManager) は、企業の電話機能を拡張して、Cisco Unified IP Phone、メディア処理装置、VoIP ゲートウェイ、およびマルチメディア アプリケーションなどのパケット テレフォニー ネットワーク デバイスとして利用できるようにします。

Cisco IPICS	Cisco IP Interoperability and Collaboration System の略。Cisco IPICS システムは、音声チャンネル、トーク グループ、および VTG を相互接続して個々のシステム間の通信をブリッジすることにより、音声の相互運用のための IP 標準ベースのソリューションを提供します。
Cisco IPICS ポリシー エンジン	このコンポーネントは Cisco IPICS サーバに統合されており、テレフォニーダイヤル機能を使用可能にし、ポリシーおよびユーザ通知の管理と実行を担当します。
Cisco IPICS サーバ	Cisco IPICS システムの基幹機能を提供します。Cisco IPICS サーバ ソフトウェアは、所定の Cisco Media Convergence Server (MCS) プラットフォームの Linux オペレーティング システム上で動作します。このサーバ ソフトウェアはインシデント管理フレームワークの管理用 GUI を備えており、ユーザ、チャンネル、VTG のための動的リソースを管理できます。また、テレフォニーダイヤル機能を使用可能にし、ポリシーおよびユーザ通知の管理と実行を担当する Cisco IPICS ポリシー エンジンを内蔵しています。
Cisco Unified IP Phone	IP ネットワーク上で音声通信を利用するための機能をすべて備えた電話機。ユーザは、Cisco Unified IP Phone を PTT デバイスとして使用することで、PTT チャンネルまたは VTG に参加できます。
Cisco Security Agent	既知および未知のセキュリティ脅威を識別、阻止、および排除して、サーバおよびデスクトップ コンピュータ システム (エンドポイント) を脅威から保護します。
CLI	コマンドライン インターフェイス (Command-Line Interface) の略。コマンドやオプション引数を入力して、オペレーティング システムを対話式で利用するためのインターフェイス。
COR	搬送波作動リレー (Carrier Operated Relay) の略。無線がトラフィックを受信しているときのシグナリングに使用される電気信号。

D

DS0 デジタル サービス 0 (Digital Service zero) の略。DS1 (T1 と呼ばれる) デジタル インターフェイス上の 1 つのタイムスロット、つまり 64 Kbps の同期全二重データ チャネルです。通常は、PBX 上の 1 つの音声接続に使用されます。

DTMF Dual Tone Multi-Frequency の略。電話キーパッドのキーを押したときに生成される、電話会社への信号。DTMF では、電話機で押す各キー (0 ~ 9、*、および #) により、特定の周波数を持つ 2 つのトーンが生成されます。1 つのトーンはトーンの高周波数グループから生成され、もう 1 つのトーンは低周波数グループから生成されます。音声ゲートウェイは、多くの場合、これらのインバンドトーンをストリッピングし、SIP、H.323、または他のメッセージでアウトオブバンドによって提供します。

E

E&M 受信と伝送 (receive and transmit) の略。耳と口 (Ear and Mouth) の略でもあります。E&M インターフェイスは、無線と LMR ゲートウェイの間のアナログ インターフェイスとして、無線チャネルからの音声信号を提供します。このチャネルは IP マルチキャストまたはユニキャストにマッピングされます。E&M インターフェイスは、アナログ トランキングの最も一般的な形態です。

1. 2 方向のスイッチ間接続、またはスイッチからネットワークへの接続などに使用される トランキング 構成。シスコのアナログ E&M インターフェイスは、PBX トランク回線 (タイ ライン) に接続するための RJ-48 コネクタです。E&M は E1 および T1 デジタル インターフェイスでも使用できます。

2. テレコミュニケーション産業で従来から使用されている シグナリング 方式。電話機の耳 (受信) と口 (送信) コンポーネントである 受話器を使用することを指します。

E リード E&M インターフェイスの耳 (受信) 部分。E リードは、LMR ゲートウェイの受信バスです。

F

- FDM** 周波数分割多重 (Frequency-Division Multiplexing) の略。複数のチャンネルが送信する情報に対して、単一回線上の帯域幅を周波数に基づいて割り振ることができる技術。
- FDMA** 周波数分割多重接続 (Frequency-Division Multiple Access) の略。個々の会話が、それぞれ異なる周波数に割り振られるチャンネル アクセス方式。非常に狭い帯域幅の中で、ライセンスを付与された複数のチャンネルを運用する場合に利用されます。
- FLEXIm** 特定のシステムにライセンスを適用するためのシスコ ソフトウェア。FLEXIm を導入すると、Cisco IPICS ソフトウェアはライセンスのある対応ハードウェア上でだけ動作するようになります。

G

- GRE** 総称ルーティング カプセル化 (Generic Routing Encapsulation) の略。遠隔地点にあるシスコルータへの仮想的なポイントツーポイントリンクを IP インターネットワーク上に作成し、IP トンネルの内部で各種のプロトコル パケットをカプセル化できるトンネリング プロトコル。GRE を使用する IP トンネリングでは、単一プロトコルのバックボーン環境にマルチプロトコルのサブネットワークを接続し、単一プロトコルのバックボーン環境を越えたネットワーク拡張を実現できます。通常、GRE が使用されるのはマルチキャスト トラフィックをルータ間でルーティングする場合です。

H

- H.323** 標準化された通信プロトコルを使用して異種通信デバイスが互いに通信するための、一連の共通コーデック、コールのセットアップとネゴシエーション手順、および基本的なデータ伝送方式を定義しています。

HLGT

高レベル ガード トーン (High Level Guard Tone) の略。覚醒トーンとも呼ばれます。このトーンは大音量に設定され、通常は、プリアンプルの最初のトーンとなります。このトーンは、その後に別のトーン (通常は、機能トーン) が続くことを無線に通知するために使用されます。「ガード トーン」を参照してください。

Hoot & Holler (Hootie)

最近の発言者 (複数可) が 1 つのマルチキャスト出力ストリームに混合される通信システム。「Hootie」とも呼ばれるこれらのネットワークは、「常時オン」のマルチユーザ会議を提供するので、ユーザはダイヤルして会議に参加する必要がありません。

Cisco Hoot & Holler 機能は、Cisco IOS の特定のバージョンで使用できます。

IDC

Cisco IPICS Dispatch Console (IDC)。携帯型の無線をシミュレートして、PC ユーザが PTT 機能を使用できるようにするスタンドアロンの PC ベース ソフトウェア アプリケーションです。このアプリケーションを使用すると、Cisco IPICS IDC のエンドユーザ、各地に派遣されている人員、および管理者が 1 つまたはそれ以上のチャンネルまたは VTG に同時に参加できます。

IDC ID

Cisco IPICS サーバが各 IDC に対して生成する一意の ID。IDC と Cisco IPICS サーバ間で交換される要求を記録し、ライセンス管理のために IDC の同時利用を検証および管理する目的で使用されます。

informix linux グループ

このグループのメンバーは、Informix データベース アプリケーションに関連する Cisco IPICS サーバのフォルダ、ファイル、およびスクリプトへのフル権限を保持します。このグループのメンバには、informix ユーザおよび ipicsdba ユーザが含まれます。

informix ユーザ ID informix linux グループと ipics linux グループの両方に属する Cisco IPICS Linux ユーザ。informix linux グループのユーザは、Cisco IPICS データベースサーバのフォルダ、ファイル、およびスクリプトへのフル権限を保持し、ipics linux グループのユーザは、Cisco IPICS アプリケーション関連のフォルダ、ファイル、およびスクリプトへのフル権限を保持します。このユーザには、Informix データベース インスタンスに対するフル管理権限も与えられます。Cisco IPICS は、ソフトウェアのインストール中に、この Linux システム ユーザ ID を作成し、パスワードを生成します。このユーザ ID のパスワードには有効期限はありません。

informix ユーザにアクセスするには、ルート ユーザ ID を使用して Cisco IPICS サーバにログインし、**su - informix** と入力します（ルートからスーパーユーザになります）。

ipicsadmin ユーザ ID ipics linux グループに属する Cisco IPICS Linux ユーザ。このユーザは、Cisco IPICS アプリケーションとデータベースのバックアップおよび復元操作に関連する Cisco IPICS サーバのフォルダ、ファイル、およびスクリプトへのフル権限を保持します。ipicsadmin ユーザには、Informix データベースに対するデータの読み取りおよび書き込みの権限も与えられます。Cisco IPICS は、ソフトウェアのインストール中に、この Linux システム ユーザ ID を作成します。このユーザ ID のパスワードには有効期限はありません。

ipicsdba ユーザ ID informix linux グループと ipics linux グループの両方に属する Cisco IPICS Linux ユーザ。informix linux グループのユーザは、Cisco IPICS データベースサーバのフォルダ、ファイル、およびスクリプトへのフル権限を保持し、ipics linux グループのユーザは、Cisco IPICS アプリケーション関連のフォルダ、ファイル、およびスクリプトへのフル権限を保持します。さらに、ipicsdba ユーザには、Informix データベース インスタンスにおいてデータの読み取りおよび書き込み、テーブルの作成、およびデータベースの作成を行う権限も与えられます。Cisco IPICS は、ソフトウェアのインストール中に、この Linux システム ユーザ ID を作成し、パスワードを生成します。このユーザ ID のパスワードには有効期限はありません。

ipicsdba ユーザにアクセスするには、ルート ユーザ ID を使用して Cisco IPICS サーバにログインし、**su - ipicsdba** と入力します（ルートからスーパーユーザになります）。

ipics linux グループ このグループのメンバーは、Cisco IPICS アプリケーションとデータベースのバックアップおよび復元操作に関連する Cisco IPICS サーバのフォルダ、ファイル、およびスクリプトへのフル権限を保持します。このグループのメンバーには、ipicsadmin ユーザ、ipicsdba ユーザ、および informix ユーザが含まれます。

- ipics ユーザ ID** Cisco IPICS Administration Console から管理関連のタスクをすべて実行できる Cisco IPICS アプリケーションレベルのユーザ ID。Cisco IPICS は、ソフトウェアのインストール中に、この Web ベースのユーザ ID を作成します。
- IPSec** IP セキュリティ (IP Security) の略。参加しているピア間での、データ機密保持、データ整合性、データ認証を提供するオープン標準のフレームワークです。IPSec は、IP レイヤでこれらのセキュリティ サービスを提供します。IPSec では、ローカル ポリシーに基づくプロトコルとアルゴリズムのネゴシエーション処理、および IPSec で使用される暗号鍵と認証鍵の生成に IKE を使用します。IPSec によって、2 つのホスト間、2 つのセキュリティ ゲートウェイ間、またはセキュリティ ゲートウェイとホスト間のデータ フローを 1 つまたはそれ以上保護できます。

L

- LLGT** 低レベル ガード トーン (Low Level Guard Tone) の略。このトーンは、保留トーンまたはキーイング トーンとして使用されます。「ガード トーン」を参照してください。

LMR

陸上移動無線 (Land Mobile Radio) の略。陸上移動無線 (LMR) システムは、所定の周波数で相互通信するために設計された、携帯型および固定型の無線装置の集合です。地理的に分散した、移動するユーザ間での即時通信が必要な組織で導入されます。

この用語は、多くの場合、携帯型または車載型のデバイスと固定型のトランスミッタの間で同じ意味で使用されます。固定型のデバイスは、通常、ベースステーションと呼ばれます。

Cisco IPICS は、特定の Cisco IOS バージョンに導入されている Cisco Hoot 'n' Holler 機能を利用して、Cisco IPICS ソリューションに無線を統合します。LMR を統合するには、無線またはその他の PTT デバイス (Nextel 電話など) への Ear and Mouth (E&M) インターフェイスを用意します。このインターフェイスは、音声ポートとして設定することで無線への適切な電気インターフェイスになります。この音声ポートは、VoIP ダイアル ピアに対応する接続トランク エントリに割り当てます。このダイアル ピアは、マルチキャストアドレスへの接続に関連付けます。このように設定すると、同じマルチキャストアドレスを使用して、対応するチャンネルを Cisco IPICS で設定でき、それによって Cisco IPICS が目的のエンドポイント間に通信パスを提供できます。

LMR ゲートウェイ

陸上移動無線 (Land Mobile Radio) ゲートウェイの略。IP トラフィックを無線で使用できるようにデジタルからアナログに変換する、ルータの E&M インターフェイスを指します。

M**M リード**

E&M インターフェイスの口 (伝送) 部分。M リードは、LMR ゲートウェイの伝送パスです。

N**NAT**

ネットワーク アドレス変換 (Network Address Translation) の略。グローバルに一意でないアドレスを、インターネットに接続するためのグローバルルーティング可能なアドレスに変換するメカニズムを提供します。

O

- ops ビュー** 操作ビュー (operational view) のこと。ユーザ、ユーザ グループ、チャンネル、チャンネル グループ、VTG、およびポリシーを、通常であればリソースを共有することができない複数の組織や機関にまたがって、ユーザ定義可能な複数のビューに編成できる Cisco IPICS の機能。ops ビューは、Cisco IPICS システムの管理者または ops ビュー管理者が個別に管理します。この機能を利用すると、複数のエンティティで 1 つの Cisco IPICS サーバを使用し、業務のニーズに応じて複数の ops ビューにわたってリソースを共有もできます。
- ops ビュー管理者** ops ビュー管理者が実施できる作業には、ops ビューがフィルタリングしたアクティビティ ログの管理と監視が含まれます。このログには、Administration Console の [Activity Log Management] ウィンドウ ([Administration] > [Activity Log Management]) でアクセスできます。
- OTAR** 無線での再施錠 (Over-The-Air Re-keying) の略。移動無線または携帯無線の内部にプログラミングされている暗号鍵を、無線周波数を通じて更新または変更できます。

P

- PIM** Protocol Independent Multicast の略。既存の IP ネットワークに IP マルチキャスト ルーティング機能を付加できるマルチキャスト ルーティング アーキテクチャ。PIM はプロトコルに依存しないユニキャスト ルーティングであり、PIM 稠密モードと PIM 希薄モードという 2 つのモードで運用できます。
- PIM 稠密モード** 2 つの PIM 運用モードの 1 つ。PIM 稠密モードはデータ駆動型であり、一般的なマルチキャスト ルーティング プロトコルと類似しています。プルーニングと切り捨てが発生するまで、すべての発信インターフェイスにパケットが転送されます。稠密モードでは、受信側が密集していて、転送されてくるデータグラムをダウンストリーム ネットワークが必要とし、使用することを前提としています。稠密モードを使用する場合のマイナス点は、このモードのデフォルトであるフラッディング動作です。「稠密モード PIM」または「PIM DM」と呼ばれることがあります。

- PIM 希薄モード** 2つの PIM 運用モードの 1 つ。PIM 希薄モードは、データの配信を制限して、ネットワーク内のデータ受信ルータ数を最小限に抑えることを目的としています。パケットが送信されるのは、ランデブーポイント (RP) で明示的に要求された場合だけです。希薄モードでは、受信側が広範囲に分散していて、送信されてくるデータグラムをダウンストリーム ネットワークが必ずしも使用しないことを前提としています。希薄モードを使用する場合のマイナス点は、明示的参加メッセージを定期的に更新する必要があること、および RP を必要とすることです。「希薄モード PIM」または「PIM SM」と呼ばれることがあります。
- PTT** Push-to-Talk の略。無線周波数エネルギーの伝送を発生させる、信号から無線へのトランスミッタ。
- 無線をキーイングする、つまり無線による伝送を発生させるアクション。シスコルータでは、無線に伝送をシグナリングするために E リード (キー トーン) が使用されます。
- PTT チャネル** 信号を送受信する、1 つの単方向パスまたは双方向パスで構成されるチャネル。Cisco IPICS ソリューションの場合、チャネルは、従来の無線の物理無線周波数 (RF) チャネルにマッピングされる 1 つの LMR ゲートウェイ ポートを表します。
- PTT チャネル ボタン** マウスでクリックする (押す) IDC 上のボタン。押したままにすると発言できます。このボタンのラッチ機能を使用すると、1 つまたはそれ以上のチャネルで同時に発言できます。
- PTT チャネル グループ** 使用可能な PTT チャネルを論理的にグループ分けして、分類に使用できるようにしたもの。

Q

- QoS** Quality of Service の略。伝送の品質およびサービスの可用性を含めた、伝送システムのパフォーマンスの尺度。

R

- RF** 無線周波数 (Radio Frequency) の略。電磁波スペクトルの範囲内にある、任意の周波数。通常は、無線周波の伝搬に関係するもの。一般的には、300 GHz 未満の周波数を使用した無線通信を指します。

- RFC 2833** DTMS シグナリング、他のトーン信号、およびテレフォニー イベントを RTP パケットで伝搬する方法が記述されている、インターネット技術特別調査委員会 (IETF) 仕様。RFC 2833 を使用すると、パケットをコンパクトに構成して、指定された期間および音量レベルを含む特定のシーケンスで、一連のトーン (DTMF を含む) を再生できます。
- RF リピータ** 入力信号を、その性質 (アナログまたはデジタル) にかかわらず増幅するアナログ デバイス。または、デジタル入力信号を再送信のために増幅、再構成、再スケジューリングするか、これらの処理を組み合わせて実行するデジタル デバイス。
- RMS** ルータ メディア サービス (Router Media Service) の略。Cisco IPICS IDC が VTG にリモート接続できるようにするコンポーネント。このサービスは、ループバック機能を利用した複数の VTG のリモート接続 (結合) もサポートします。
- RMS は VTG を支援してマルチキャスト チャンネルを混合するほか、IDC の SIP ベース (ユニキャスト) 接続をマルチキャスト チャンネルまたは VTG に混合します。RMS は、スタンドアロン コンポーネント (RMS ルータ) としてインストールすることもできれば、LMR ゲートウェイにインストールされる追加機能としてインストールすることも可能です。
- RTP** Real-Time Transport Protocol の略。音声、映像、シミュレーション データなどのリアルタイム データを送送するアプリケーションに対して、マルチキャストまたはユニキャストのネットワーク サービスを通じた、エンドツーエンドのネットワーク伝送機能を提供するために IP ネットワークで広く使用されています。
- RTCP** Real-time Transport Control Protocol の略。重要なイベントまたは伝送統計情報を送信者および受信者に通知するための標準。RTCP の最も一般的な形式は、送信者レポートと受信者レポートです。
-
- T**
- T1** デジタル WAN キャリアのファシリティ。T1 は、Alternate Mark Inversion (AMI; 交互マーク反転) または Binary 8-zero Substitution (B8ZS) 符号化を使用し、電話交換網を通じて DS-1 形式のデータを 1.544 Mbps で伝送します。

- T1 ループバック** マルチキャストからユニキャストへのマッピングを可能にし、ユニキャスト電話コールを LMR または他のマルチキャスト オーディオ ストリームに接続できます。ループバックは、使用可能な 2 つの T1 インターフェイスで構成されません。
- TCP** 伝送制御プロトコル (Transmission Control Protocol) の略。信頼性のある全二重データ伝送を提供する、コネクション型のトランスポート レイヤ プロトコル。TCP は、TCP/IP プロトコル スタックの一部です。
- TDMA** 時分割多重接続 (Time Division Multiple Access) の略。各チャネルの伝送のためにそれぞれ別の時間間隔 (「スロット」または「スライス」) を割り当てることにより、複数の情報チャネルを同一のリンク上で伝送するタイプの多重化方式。
- TIA/EIA-102 標準** 次世代の公衆安全無線に利用される音声およびデータの技術標準を策定することを目的とした、政府と産業界共同の取り組み。
- TUI** テレフォニー ユーザ インターフェイス (Telephony User Interface) の略。ダイヤル エンジンが提供するテレフォニー インターフェイス。発信者が、トークグループへの参加やポリシーの呼び出しなどの作業を実行できます。
-
- V**
- VAD** 音声アクティビティ検出 (Voice Activity Detection) の略。音声ポートまたはダイヤル ピアで VAD が有効になっている場合、人間に聞こえる音声だけがネットワーク上で伝送されます。Cisco IPICS で VAD が有効になっている場合、IDC は、ユーザの音声を検出したときに限り音声トラフィックを送信しません。
- VoIP** Voice over Internet Protocol の略。音声ストリームをデジタル化およびパケット化することで、POTS 同様の機能、信頼性、および音声品質を保ちながら、音声コールを IP ネットワーク上で伝搬する機能を提供します。
- VOX** 音声作動型伝送 (Voice-Operated Transmit) の略。接続されている音響電気変換器によって感知された音または音声エネルギーが、所定のしきい値を超えた場合に作動するキーイング リレー。VOX は音声エネルギーに応じてトランスミッタを駆動させるので、Push-to-Talk 操作の必要がなくなります。
- VTG** 仮想トーク グループ (Virtual Talk Group) の略。VTG には、チャネル、チャネルグループ、ユーザ、ユーザグループを任意に組み合わせて入れることができます。VTG に他の VTG を入れることもできます。

- VTG 参加者追加** 選択した参加者（複数可）を、選択した VTG に追加するアクション。
- VTG への招待** ダイアルアウト招待アクションの 1 つ。招待できるユーザは事前に設定済みですが、招待先となる VTG は、ポリシーの呼び出し側がダイアルインしている VTG によって決まります。

あ

- アイドル トーン** 着信トラフィックがないことを LMR ゲートウェイにシグナリングするために、無線が M リードで送信できるトーン。アイドル トーンがなくなると、LMR ゲートウェイは、すべての信号を有効な音声トラフィックと見なします。
- アクティブ** SIP（ユニキャスト）回線またはマルチキャスト回線が完全に動作していることを示す VTG の状態。**PTT および音量のインジケータが強調表示されます。**
- アクティブ化中** [Activate] ボタンをクリックすると有効になる VTG の状態。システムがアクティブ化と接続を試行している間は、[Activate] ボタンが強調表示され、IDC の他のボタンは非アクティブ状態になります。
- アクティブ化ボタン** このボタンは、IDC 上の機能のアクティブと非アクティブを切り替えます。IDC のこのボタンをクリックすると、チャンネルが（発信のために）アクティブになります。もう一度クリックすると、チャンネルが非アクティブになります。
- アクティブな仮想トーク グループ** 仮想トーク グループ（VTG）は、マルチキャスト アドレスや必要なダイアルイン ピアなど、グローバル リソースを Cisco IPICS がコミットするとアクティブになり、VTG 内の参加者が互いに通信できるようになります。
- 暗号化 (encipher)** 暗号を使用して、プレーンテキストを理解不能な形式に変換すること。
- 暗号化 (encryption)** 特定のアルゴリズムを適用してデータを見かけ上改変し、不正なユーザが理解できないようにすること。

い

- イベント** Cisco IPICS ソリューション内のアクティブな VTG。

インシデント管理フレームワーク ユーザ、無線チャネル、カメラ、センサー情報などのリソースを、ポリシーまたはインシデントのニーズに基づいて配信するための調整可能な GUI を備えたソフトウェア フレームワーク。

インバンド インバンドで送信されるトラフィックは、**Real-time Traffic Protocol (RTP)** と同じストリームに含まれます。インバンド信号は、符号化された信号である場合も、**RFC 2833** の信号である場合もあります。

え

エンコード 情報を、必要な伝送形式に変換すること。

お

オフライン モード サーバへの接続がオフラインになると、IDC はオフライン モードに入ります。オフライン モードを利用すると、サーバがダウンしている間も通信を継続できます。オフライン モードを使用するには、少なくとも 1 回、サーバに正常にログインしている必要があります。

オペレータ Cisco IPICS のオペレータは、ユーザの設定と管理、アクセス特権の設定、およびユーザ ロールと ops ビューの割り当てを担当します。

音声の再生 IDC ユーザが、チャネルごとにバッファされている音声を再生できる機能。

音声の相互運用性 音声の相互運用性があると、異種の装置やネットワークが互いに正常に通信できます。

音声ユーザ名 チャネル、チャネル グループ、VTG、ユーザ、ユーザ グループ、ops ビュー、ポリシーなどのエンティティに使用される、名前の録音物。この名前は、ポリシー エンジンを使用して録音したり、外部で録音し、システムにアップロード可能な .wav ファイルを利用したりできます。

音量インジケータ IDC の音量インジケータは、チャネルの現在の音量レベルをグラフ形式で示します。

音量上 / 下ボタン 音量レベルを制御するための IDC 上のボタン。

か

- ガード トーン** 最も一般的なガード トーンは、High Level Guard Tone (HLGT; 高レベル ガード トーン) と Low Level Guard Tone (LLGT; 低レベル ガード トーン) です。HLGT は、その後に機能トーンが続くことを無線に通知するために使用されます。LLGT は、保留トーンまたはキーイング トーンとして使用されます。「トーン キーイング」を参照してください。
- 会議の会議** 複数の VTG で構成される会議。
- 下位互換性** 新しい無線装置が備えている、従来のシステム インフラストラクチャ内で運用できる能力。または、従来の無線装置と直接に相互通信できる能力。この用語は、通常、アナログ信号を送送できるデジタル無線に対して使用されます。
- 解読** 暗号文を、暗号化前のプレーンテキスト形式に復元すること。
- 仮想チャネル** 仮想チャネルは、チャネルに類似していますが、無線システムが接続されていないチャネルを作成できます。仮想チャネルを作成すると、VTG にコールするための物理携帯無線を使用していない参加者が、IDC アプリケーションまたはサポートされている Cisco Unified IP Phone モデルを使用することで参加可能になります。
- カバレッジ** 無線通信において、無線システムが無線通信サービスを提供できる（カバーする）範囲である地理上の領域。「サービス配信区域」とも呼ばれます。
- 干渉** 無線通信システムにおいて、輻射、放射、誘導、またはこれらの組み合わせにより、受信時に発生する不要なエネルギー。パフォーマンスの低下や誤動作、このような不要エネルギーが発生していないときには抽出できる情報の欠落によって明らかになります。

き

- キー** 暗号コードまたは暗号方式を定義したパラメータ。
- キー（無線）によって、無線による伝送が発生します。「トーン キーイング」を参照してください。

- キーブアライブ** 2 デバイス間の仮想回線がアクティブ状態を維持していることを通知するために、あるネットワーク デバイスから別のネットワーク デバイスに送信されるメッセージ。
- 機能トーン** 高レベル ガード トーンの後につき、無線に特定の機能（新しい伝送周波数の選択など）を実行させるトーン。機能トーンは、多くの場合、F1、F2、F3 などと呼ばれます。「プリアンプル」および「HLGT」を参照してください。
- キュー** 連続的に配置された一連の項目のこと。さまざまなタイミングで発生した複数のイベントを保管しておき、所定の規則に従って提供するために使用されます。この規則は、固定されている場合も調整可能な場合もあります。
- キューイング遅延** 無線通信システムにおいて、コール発信者がシグナリングを完了してから、コール発信者に伝送許可が到達するまでの時間を指します。
- キロヘルツ (KHz)** 1,000 Hz を表す周波数単位。

く

- グループの動的再構成** 複数の無線を、無線プログラムの手動操作なしで特定のトーク グループに配置できるトランキング システムの機能。グループの動的再構成は、システム制御コンソールを使用して開始され、トランキング システムの制御チャンネルを通じて無線に伝送されます。

け

- ゲートウェイ** アプリケーション層において、あるプロトコル スタックから別のプロトコル スタックに情報を変換するデバイス。Cisco IPICS のゲートウェイ コンポーネントには、LMR ゲートウェイがあります。この機能は、通常は対応シスコルータに追加機能としてインストールされます。LMR ゲートウェイは、IP マルチキャスト ストリームに無線周波数をブリッジすることにより、無線ネットワークと非無線ネットワーク間の音声の相互運用性を実現します。

こ

- コーデック** コーダ / デコーダ (coder-decoder) の略。
- パルス符号変調などを使用してアナログ信号をデジタル ビット ストリームに変換し、デジタル信号をアナログ信号に復元する集積回路デバイス。
 - Voice over IP、Voice over Frame Relay、および Voice over ATM において、音声やオーディオ信号の圧縮 / 圧縮解除に使用される DSP ソフトウェア アルゴリズム。
- コール** 無線用語としてのコールは、伝送キーを押したときに開始され、伝送キーを離れたときに終了するものと定義されます。「コールごと」という用語は、何らかの形の制御によって、無線が音声伝送前に特定の周波数を選択することを意味します。一部の無線は、コール終了時に、あらかじめ定義されている RF チャネルに自動的に戻るように設定されています。
- コール確立時間** ユーザまたは端末間で回線交換コールを確立するために必要な時間。
- コール遅延** 自動スイッチング デバイスに到達したコールをただちに処理できる、アイドルチャネルまたはファシリティがない場合に発生する遅延。
- 混合トーン** 混合された 2 つのトーン。たとえば、DTMF は混合トーンです。正常に伝送するために、トーン信号を LLGT と混合する必要があります。「DTMF」を参照してください。
- 近端** イーサネットまたは RS-232 リンクに物理的に接続されているデバイス。遠端と比較してください。遠端は、ブロードキャストの向こう側にあるデバイスを指します。LMR ゲートウェイに接続されているベース ステーションは、近端デバイスです。一方、ベース ステーションから無線信号を受信する携帯無線は、遠端デバイスです。

さ

- サービス配信区域** 「カバレッジ」を参照してください。

- サブスクライバ装置** 無線システムで使用される、移動無線装置または携帯無線装置。
- サブチャンネル** 別のチャンネルと同じマルチキャスト アドレスを共有するチャンネル。これらの複数のソース ストリーム（チャンネル）は、1 つの無線チャンネル上に存在できません。IDC では、無線チャンネルのチャンネル セレクタ ボタンを押すことにより、これらのチャンネルにアクセスします。

し

- システム アーキテクチャ** 陸上移動無線システムの設計方針、物理的な構造、機能構成。アーキテクチャには、単一サイト、マルチサイト、同時キャスト、マルチキャスト、中継レシーバ システムが含まれる場合があります。
- システム管理者** Cisco IPICS のシステム管理者は、サーバ、ルータ、マルチキャスト アドレス、ロケーション、PTT チャンネルなどの Cisco IPICS リソースのインストールと設定を担当します。また、ops ビューを作成し、Cisco IPICS のライセンスと IDC のバージョンを管理し、アクティビティ ログ ファイルを利用してシステムとシステム ユーザのステータスを監視します。
- 周波数** 周期的に実行される処理における、時間単位ごとのサイクルまたはイベントの数を表します。周波数は、さまざまなコンテキストで使用されます。たとえば、伝送周波数（無線が信号を送信する帯域）や、ヘルツ（Hz）で測定される可聴信号の周波数などがあります。すべてのトーン制御動作では、特定の周波数の狭い帯域内に収まる、特定の音量（振幅）の可聴トーンが必要です。
- 周波数の共有** 同じ無線周波数を、地理的に分散した複数のステーション（または、当該の周波数をそれぞれ別の時間に使用する複数のステーション）に割り当てること、またはこれらのステーションで使用するすること。
- 周波数変調** 周波数の異なる複数の信号によって、それぞれ別のデータ値を表現する変調技術。
- 周波数ホッピング** テレコミュニケーションの不正な傍受や妨害を最小限に抑えることを目的として、無線での伝送中に、指定したアルゴリズムに従って周波数を継続的に切り替えること。
- 周波数割り当て** 所定の条件下で、無線周波数または無線周波数チャンネルを使用する無線ステーションに適用される割り当て。

従来の無線システム	オープン チャネルをユーザが聴取して可用性を調べるという点で、電話のパーティ ラインに類似したトランキングされていないシステム。
受信インジケータ	トラフィックの着信時に緑色に点滅する IDC 上のインジケータ。
消音	ディスパッチャが 1 つまたはそれ以上のチャネルで IDC ユーザを消音して、発言（音声の伝送）を禁止できる機能。ディスパッチャは、ユーザのマイクロフォン、またはマイクロフォンとスピーカの両方を消音できます。
招待ポリシー	テレフォニー ユーザ インターフェイスからのみ呼び出すことができ、VTG への招待アクションだけを含むことができるポリシー。ユーザは、トーク グループに参加すると、ブレイクアウト メニューにアクセスして招待ポリシーを呼び出すことができます。招待されたユーザの参加先になるトーク グループは、このユーザが参加しているトーク グループです。
シリアル制御された無線	アウトオブバンド シグナリング（通常は、RS-232）を使用する無線の制御タイプ。「無線制御サービス」を参照してください。
自律システム	一元的に管理および制御されている 1 つの無線システム。管理ドメインとも呼ばれます。このシステムは、通常は単一の組織で構成されます。
信号	トランスミッタから受信者に情報を伝達する、検出可能な伝送エネルギー。

す

数字 ID	Cisco IPICS ユーザが選択し、ユーザ プロファイルに格納される数値型の識別子。Cisco IPICS は、この ID と数字パスワードを使用して Cisco Unified IP Phone ユーザを認証します。
スキヤニング	別のチャネルまたはトーク グループで発生している会話をユーザが開けるように、無線が自動的にチャネルまたはトーク グループを変更できるようにするサブスクライバ装置機能。
スキン	スキンは、IDC の外観を形成するものです。Cisco IPICS では、スキンはカスタマイズ可能であり、4 チャネルや 8 チャネルのマウス、タッチ スクリーン形式を含むさまざまなオプションで使用できます。
スクリプト プロンプト	ダイヤル エンジン スクリプトが実行中に再生する音声プロンプト。発信者がテレフォニー ユーザ インターフェイスを使用して操作を行うときに、発信者に対して再生されます。

- スケルチ** 受信中の信号が非常に弱く雑音しかないときに、無線受信者への入力を停止する電子回路。
- スペクトル** 電磁波分布において、利用可能な無線周波数。次の周波数は、公衆安全用として割り当てられています。
- 高域 HF 25 ~ 29.99 MHz
 低域 VHF 30 ~ 50 MHz
 高域 VHF 150 ~ 174 MHz
 低域 UHF 406.1 ~ 420/450 ~ 470 MHz
 UHF TV 共通 470 ~ 512 MHz
 700 MHz 764 ~ 776/794 ~ 806 MHz
 800 MHz 806 ~ 824/851 ~ 869 MHz
- スルービット** データ通信システム（またはシステムの一部）を通過するビット、文字、またはブロックの数。

せ

- 静的に設定されたトーン制御** LMR ゲートウェイの静的な設定を使用して、LMR ゲートウェイに流れる各データストリームにプリアンブルまたはガード トーン（あるいはその両方）を適用できます。トラフィックがマルチキャストアドレスで送信される場合、無線は、トーン制御シーケンスによって要求される特定の無線チャネルに自動的に切り替わります（プリアンブルのため）。
- セキュア チャネル** 無線の共通無線ネットワーク（CAI）側で、安全な（暗号化またはスクランブルが施された）通信を提供する無線に接続されたチャネル（データ ネットワークに設定されているセキュリティのレベルは、LMR ゲートウェイとネットワーク接続デバイス（IDC や Cisco Unified IP Phone など）間の通信のセキュリティによって決まります）。
- チャネルが安全であることを示すために、サーバで設定されるアトリビュート。安全なものとして設定された PTT チャネルは、VTG 内の安全でないチャネルと混合できません。
- 線形変調** 無線システムの物理トランスポート レイヤを提供する、無線周波数伝送技術の 1 つ。この技術は、デジタルおよびアナログのシステム環境と互換性があり、チャネル帯域幅 5 ~ 50 KHz をサポートします。

そ

- 相互運用性** それぞれ異なるベンダーによって製造された装置が、ネットワーク上で互いに正常に通信できる能力。
- 相互支援チャンネル** 相互支援や相互運用にだけ使用するように予約されている、国または地方のチャンネル。通常は、使用を規制する制約事項や指針が定められています。

た

- 帯域幅** ネットワーク信号に対して使用できる最高周波数と最低周波数の差。特定のネットワークメディアやプロトコルのスループットキャパシティ測定値を表す場合もあります。帯域幅は、信号の伝達に必要な周波数範囲をヘルツ (Hz) 単位で指定したものです。たとえば、音声信号は通常約 7 KHz の帯域幅を必要とし、データトラフィックは通常約 50 KHz の帯域幅を必要とします。
- ダイヤル エンジン スクリプト** テレフォニー ユーザ インターフェイス (TUI) を提供して、発着信する電話コールを対話式で操作できるようにするため、Cisco IPICS ダイヤル エンジンが実行するスクリプト。
- ダイヤル ピア** アドレスの設定対象にできるコールエンドポイント。Voice over IP の場合は、POTS と VoIP という 2 種類のダイヤル ピアがあります。
- ダイヤルアウト招待** 選択したユーザ (複数可) を、選択した VTG に招待するアクション。
電話機のユーザをトーク グループに招待するために、ポリシー エンジンによってユーザにダイヤルアウトされる電話コール。
- ダイヤルイン** ポリシー エンジンにダイヤルインされる電話コール。
- ダイヤルイン フロア コントロール** 一度に 1 人のダイヤルイン ユーザを VTG またはチャンネルで発言できるようにする機能。テレフォニー ユーザ インターフェイスには、ダイヤルイン ユーザをサポートするためのダイヤルイン フロア コントロール機能が用意されています。他の PTT ユーザに対しては、フロア コントロールのサポートは提供されません。

ダイヤル番号	ポリシー エンジンおよび SIP プロバイダーで使用される電話番号。[Ops Views] ウィンドウの [Dial Information] ペインで設定します。ユーザは、この番号をダイヤルするとテレフォニー ユーザ インターフェイスにアクセスできます。
多重化	複数の情報チャンネルを共通の伝送メディア上で組み合わせること。電気通信の場合、多重化の基本方式は時分割多重 (TDM) と周波数分割多重 (FDM) の 2 つです。
多目的ポリシー	サポートされている任意のアクションを含んだポリシー。テレフォニー ユーザ インターフェイスまたは Cisco IPICS Administration Console を使用して呼び出すことができます。
端末	通信チャンネル上で、情報を送信、受信、または送受信できるデバイス。

ち

遅延時間	待機時間とキュー内のサービス時間の合計。
チャンネル	単一の RF 伝送を実行するために必要な帯域幅が十分にある通信パス。環境によっては、複数のチャンネルを 1 本のケーブル上に多重化できる場合もあります。Cisco IPICS には、直接ダイヤル、双方向、VTG、無線チャンネルなど、多くの異なるタイプのチャンネルがあります。チャンネルは、動的に割り当てることも、静的に割り当てることもできます。チャンネルは、チャンネルの送信元を定義する 1 つ以上のチャンネル接続を持つことができます。「PTT チャンネル」を参照してください。
チャンネル キャパシティ	所定の制約の下で、チャンネルで実現可能な最高の情報伝送レート。
チャンネル フォルダ	チャンネルの論理グループ。
チャンネル間隔	1 つのチャンネルの中央から、隣接する次のチャンネルの中央までの距離。通常は KHz 単位で測定します。

チャンネル接続 コンテンツ ストリームを取得できる 1 つ以上の方式。たとえば、特定のチャンネルが、さまざまロケーションのいくつかの異なるマルチキャスト アドレスや無線で検出されることがあります。

チューニング (無線) 無線の現在の送信周波数および受信周波数を変更すること。このタスクは、通常、何らかの形の無線制御でプリセットによって実行されます。

つ

通知 電子メール、SMS、ポケットベル、または電話機を使用して、選択したユーザ (複数可) に通知を送信するアクション。必要な ID および電話番号は、ユーザごとの通信プリファレンスで設定します。電話機を使用して送信する通知の場合は、通知プロンプトを再生する前にユーザ認証が必要です。

通知メッセージを送信する目的でユーザに発信される、電子メール、SMS、ポケットベル、または電話コール。

て

ディスクリート トーン 別のトーンを混合したり追加したりすることなく送信されるトーン。たとえば、低レベル ガード トーンに機能トーンを追加すると、機能トーンの認識に影響が及ぶ可能性があります。混合トーンと比較してください。

ディスパッチャ Cisco IPICS のディスパッチャは、VTG のセットアップ、会議を開始するための VTG のアクティブ化、非アクティブな VTG およびアクティブな VTG に対する参加者の追加と削除を担当します。また、アクティブな VTG およびイベントを監視し、必要に応じて IDC ユーザを消音または消音解除し、ポリシーを管理できます。このポリシーは、特定の基準および指定の間隔に基づいて、VTG をアクティブまたは非アクティブにします。ポリシー管理アクティビティには、ポリシーの作成 / 変更 / 削除、ポリシーの表示、ポリシーの実行、および特権の有効化が含まれます。

デジタル変調技術 チャンネルを通じて後で伝送するために、デジタル データ シーケンスを搬送波信号に乗せる技術。

伝送インジケータ IDC スキンによっては、トラフィックの伝送中にこのインジケータが赤色に点滅します。

と

- 動的無線チャネル (動的制御)** クライアントがチャネルを使用できるように、無線特性をプリセットするために使用される制御。
- トーク グループ** VTG またはチャネル。
職責の共通する無線ユーザで構成されたサブグループ。平常時にはグループ内のユーザとだけ共同作業し、他のサブグループとの無線インターフェイスを必要としない無線ユーザをまとめたもの。
- トーン キーイング** トーン キーイング無線では、着信アナログ (E リード) ポートに特定のトーンが存在する必要があります。このトーンがないと、無線は伝送を行うことができません。このトーンは、通常、ノイズの挿入によって発生する可能性のあるスプリアスな伝送を防ぐために使用されます。
- トーン シグナリング** 遠端で終端することを目的とした、任意の形式の無線可聴信号。たとえば、アラート トーン、DTMF トーン、ページング トーンなどです。
- トーン周波数** 機能トーンの特定の形式。周波数を選択するよう無線にシグナリングするために使用されるトーン。このような可聴トーン周波数は、ルータで生成され、特定のシーケンスに結合されて、トーン制御機能を実行します。
- トーン制御** インバンド トーン シーケンスを使用して、無線エンドポイントの動作を変更するプロセス。インバンド トーンは、無線周波数 (RF チャネル) の変更 (再チューニング)、伝送電力レベルの変更、チャネルの監視などの機能の制御に使用できます。トーン制御の最も基本的な形式 (トーン キーイング) は、無線をキーイングするために使用されます。Cisco IPICS ソリューションでは、制御されている無線は、LMR ゲートウェイの E&M リードに直接接続されています。
- トランク** ネットワーク トラフィックが伝送される 2 台のスイッチ間に存在する、物理的および論理的な接続。テレフォニーの場合、トランクは、2 つのセントラル オフィス (CO) 間、または CO と PBX 間にある電話回線です。
- トランク (システム)** RF チャネルの選択およびアクセスを含めて、無線操作のすべての項目を中央で管理するための機能一式を備えたシステム。

トランク無線システム 複数のチャンネル ペアを単一のシステムに統合します。ユーザがメッセージを送送しようとする時、現時点で未使用のチャンネル ペアをトランク システムが自動的に選択し、ユーザに割り当てて、チャンネルが空くまで待機する確率を減らします。

トリガー 手動操作なしで定期的にポリシーを呼び出すための、時間ベースのイベント。

な

ナローバンド チャネル 占有する帯域幅が 20 KHz 未満のチャンネル。

ね

ネットワーク 通信エンティティを相互に接続したもの。

は

ハイバンド周波数 VHF 帯域のうち、周波数レベルが比較的高いものを指します。通常は 138 ～ 222 MHz です。

パケット 制御情報を含んだヘッダーを含めて、情報を論理的にグループ分けしたものの。通常は、ユーザ データも含まれています。

パケット スイッチング パケットの伝送中だけチャンネルが使用されるように、アドレス指定付きのパケットを使用してデータをルーティングおよび伝送するプロセス。伝送が完了すると、チャンネルは他のトラフィックの伝送に使用できる状態になります。

波長 信号を振幅と時間の平面図として表現したもの。

発言者の調停 Push-to-Talk システムにおいて、アクティブなオーディオ ストリームの決定に使用される手順。

搬送波 情報伝達信号による変調に適したウェーブ。

ひ

- 非アクティブ** [Activate] ボタンを再度クリックしてチャンネルを非アクティブにするか、接続が終了すると有効になる VTG 状態。IDC のボタンは、すべて強調表示が解除されます。
- 非アクティブ VTG** 使用できる状態で保持されている VTG。Cisco IPICS サーバは、ポリシーに従って自動的に（またはディスパッチャによって手動で）アクティブにできる状態で、入力された情報を含む非アクティブ VTG を保持します。

ふ

- 復号化** 暗号化されたデータに暗号化アルゴリズムを逆用して、当該のデータを暗号化されていない元の状態に復元すること。
- 複数選択ボタン** IDC のすべてのチャンネルをオーディオ伝送用に選択または選択解除する機能を提供します。
- プリアンブル** 伝送に先行するトーンのシーケンス。プリアンブルには、通常、HLGT および機能トーンが含まれます。
- フレーム** 伝送メディアのデータリンク層で送信される情報を、論理的にグループ分けしたユニット。このユニットの内部に保持されるユーザ データをカプセル化し、同期化とエラー制御に使用されるヘッダーおよびトレーラのことを指す場合もあります。Open System Interconnection (OSI; オープン システム インターコネクション) 参照モデル各層における論理的な情報グループを指すものとしては、セル、データグラム、メッセージ、パケット、およびセグメントという用語もあります。
- フロア コントロール** Push-to-Talk の発言者を調停するための標準メカニズム。
- プロトコル** 通信機能の実行に必要な一続きの処理について規定した、一意の規則の集合。

へ

- 米国公共保安計画諮問委員会** 821 ~ 824 MHz 帯および 866 ~ 869 MHz 帯を米国全体で計画的に割り当てることを目的として設立された委員会。
- 米国情報通信庁** テレコミュニケーションおよび情報ポリシーについて、大統領への主要な助言機関として機能する、米国の上級支庁。連邦政府による無線周波スペクトル利用の管理を担当します。
- ベースステーション** 陸上移動無線サービスにおける、陸上ステーション。個人向け通信サービスの場合は、一定の場所に常設され、1 つまたは複数のコールを処理するすべての無線装置の一般的な呼称。
- 変調** 搬送波の特性を、情報伝達信号に合わせて変化させるプロセス。またはその結果。

ほ

- ポータリゼーション** クライアントアプリケーションのインターフェイスおよび機能をカスタマイズするための、Web プログラミング パラダイム。
- 保存された VTG** 「非アクティブ VTG」とも呼ばれます。
- ポリシー** ポリシーには、連続的に実行される 1 つまたはそれ以上のアクションが含まれており、Cisco IPICS Administration Console またはテレフォニー ユーザ インターフェイスを使用して手動でアクティブにできます。Cisco IPICS は複数のポリシー タイプをサポートしています。
- ポリシー チャンネル** ディスパッチャがセットアップし、指定チャンネルとして設定できるチャンネル。つまり、管理者がディスパッチャと対話できるように常に開いているチャンネルです。
- ポリシー適用ステータス** ポリシー適用が成功したか、失敗したかを示すインジケータ。ポリシーに含まれている各アクションのステータスは、Cisco IPICS Administration Console で確認できます。

ま

- マルチキャスト** ネットワークによってコピーされ、特定のネットワーク アドレス サブセットに送信される単一パケット。ネットワーク上で、単一の送信者から複数の受信者に送信される通信のことを指します。
- マルチキャスト アドレス** 複数のネットワーク アドレスを指すことができる単一アドレス。
- マルチキャスト アドレス / ポート** Cisco IPICS では、このタイプの接続を使用して IDC がマルチキャスト チャネルに直接チューニングできるようにしています。マルチキャスト アドレス / ポートの組み合わせは、ゲートウェイおよび RMS コンポーネントでも使用されます。
- マルチキャスト プール** マルチキャスト プールの一部として定義されているマルチキャスト IP アドレス。ディスパッチャが VTG をアクティブにすると、Cisco IPICS はこのリソース プールにあるマルチキャスト アドレスを割り当てます。

む

- 無線制御サービス** Cisco IPICS システムの論理要素で、手動操作なしで無線に必要なチャネルにチューニングできます。シリアル制御エンティティを指します。
- 無線装置** 人為的な操作なしに電磁波を変調し、空間に放射して遠隔地と通信するための装置、相互接続されたシステム、または装置のサブシステム（送信と受信の両方）。この装置には、マイクロ波装置、衛星設備、および携帯電話機器は含まれません。
- 無線チャネル** 無線通信に利用できる、割り当てられた周波数帯域を指します。無線チャネルの帯域幅は、伝送のタイプと周波数のトレランス（許容差）によって異なります。

め

- メガヘルツ (MHz)** 1,000,000 Hz を表す周波数単位。

ゆ

ユーザ

Cisco IPICS のユーザは、自分のログイン情報を設定し、IDC アプリケーションをダウンロードし、IDC スキンをカスタマイズし、オーディオデバイスの設定に使用される通信プリファレンスを指定できます。ユーザは、あらかじめ定義されているユーザ ID およびプロファイルを使用することで、Cisco IPICS IP ポリシー エンジンのテレフォニー ダイアル機能を通じ、IDC、サポートされている Cisco Unified IP Phone モデル、および公衆電話交換網 (PSTN) を使用して PTT チャネルおよび VTG に参加できます。ユーザには、システム管理者、ops ビュー管理者、オペレータ、ディスパッチャなどの Cisco IPICS ロールを 1 つまたはそれ以上与えることができます。

ユニキャスト

ポイントツーポイントでの伝送、または、単一のネットワーク送信先に送信されるメッセージを指します。

ら

ラッチ

Cisco IPICS ユーザが PTT チャネルにロックインすることを可能にする IDC の機能。

り

リモート接続

Cisco IPICS は、このタイプの接続を使用して RMS コンポーネントへの SIP ベース トランキングを提供します。RMS コンポーネントは、マルチキャスト チャネルへと直接チューニングされます。

る

ルート ユーザ ID

Cisco IPICS サーバ内のすべてのファイルにアクセスできる Cisco IPICS Linux ユーザ。このユーザ ID には強いパスワードが強制され、Linux オペレーティング システムのパスワード有効期限ルールが適用されます。

ろ

- ロケーション** Cisco IPICS では、ロケーションは到達可能性を表します。つまり、同じロケーションに関連付けられたチャンネルまたはユーザは、他にネットワーク設定をしなくても互いに通信できます。ロケーションは、サーバでの定義に応じて、物理的な場所を指す場合も、仮想的な場所を指す場合もあります。
- ローバンド周波数** VHF 帯域のうち、周波数レベルが比較的低いもの。通常は 25 ~ 50 MHz です。

わ

- ワイドバンドチャンネル** 占有する帯域幅が 20 KHz を超えるチャンネル。